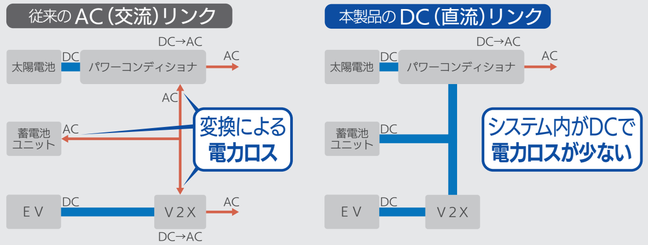
「DC（直流）リンク」によるエネパ向上

太陽電池・蓄電池・EV の間で DC（直流）のままで電力融通することで、AC（交流）に変換する際に発生する電力ロスが抑えられ、太陽光発電をムダなく活用できるエネパ（エネルギーパフォーマンス）の高い蓄電システムです。

※DC(直流)における電力融通においても蓄電池ユニットやEVの充放電等で電力ロスは発生します。



従来比50%以上※1の小型化・軽量化を実現

従来モデルと比較して重量・体積ともに小型・軽量化を実現し、省スペースでスマートに設置できます。さらに、蓄電池ユニットを縦積みできる専用ラックを活用することで、蓄電システムを導入できなかった狭小スペースにも設置することができます。

※1 従来モデル（出力容量20kW, 蓄電容量32.4kWh, 屋内仕様）と本製品（出力容量25kW, 蓄電容量38.8kWh, 屋内仕様,分岐盤1台を含む）の比較。

遠隔監視機能（オプション）

計測監視装置として、小型計測装置 DataCube4（株式会社フィールドロジック）および Solar Link Zero（株式会社ラプラス・システム）を推奨します。またニチコン独自の遠隔監視サービス（オプション）は現在開発中です。

オフグリッド運転可能

太陽光発電のみでシステムを再始動するコールドスタートが可能。離島や山間部など商用電力が届いていない場所でも太陽光発電と組み合わせてオフグリッド電源として利用可能です。

消防への届出不要

本蓄電システムは消防庁次長通知（消防予第306号）に準拠しており、原則として所轄の消防署への届出は不要※2です。

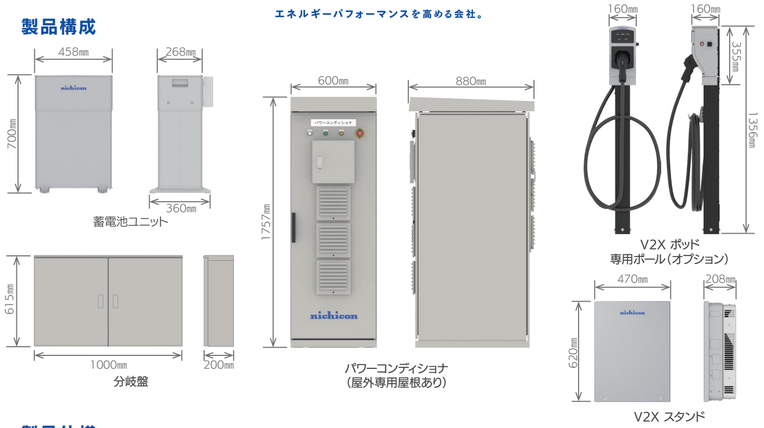
※2取扱いが地域により異なる場合があります。導入前に地域の火災予防条例をご確認ください。

くらしに、エネパ！

nichicon

エネルギーパフォーマンスを高める会社。

製品構成



製品仕様

蓄電システム

型番			BS025038	BS050077
蓄電池 定格容量			38.8kWh(9.7kWh×4)	77.6kWh(9.7kWh×8)
蓄電池増設			38.8～77.6kWh(9.7kWh 単位)	77.6～155.2kWh(9.7kWh 単位)
定格出力	系統連結出力		25kW	50kW
	自立出力		25kVA	50kVA
	電力系統		三相 3 線 202V	
太陽電池入力	出力電圧範囲		400V～700V（最大解放電圧：750V）	
	入力回路数		1 回路	2 回路
動作温度			パワーコンディショナ：-10～50℃ 蓄電池ユニット：-10～40℃	
設置場所			屋内・屋外※1 ※2	
外形寸法 ※3	パワーコンディショナ ※4		W600×H1757×D880 mm	
	蓄電池ユニット		W458×H700×D360 mm（一台あたり）	
質量	パワーコンディショナ ※4		340kg	410kg
	蓄電池ユニット		計 348kg (38.8kWh) 一台 (9.7kWh) あたり 87kg	計 696kg (77.6kWh)

V2X※5

型番		BS-PL1
充電出力		最大 9.9kW
放電出力		最大 5.9kW
動作温度		-20-40℃
設置場所		屋外・塩害地域 （重塩害地域は不可）
CHAdeMO（充放電規格）		CHAdeMO V2H Ver.2.2
外形寸法 ※3	V2X スタンド	W470×H620×D208 mm
	V2X ポッド	W160×H355×D160 mm
質量	V2X スタンド	26kg
	V2X ポッド	7.9kg

※1 屋外の場合はパワーコンディショナに専用屋根が付属します。
また BS025038 は専用筐体により屋外塩害に対応可能です（重塩害地域は不可）。
※2 蓄電池ユニットは直射日光が当たる環境への設置不可。
※3 突起部含まず。
※4 屋外専用屋根あり、チャンネルベース高さ 50mm（底面入線）仕様の場合。
チャンネルベースは高さ 180mm（底面、側面、背面入線）仕様を選択可能。
※5 V2X 連携機能は現在開発中です。

※商品改良のため仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

⚠ 安全に関するご注意

●当社の「納品仕様書」「取扱説明書」などに基づきご使用くださるようお願いします。これら「納品仕様書」「取扱説明書」などの記載内容に従わずお客さまが機器をご使用になられた場合、万一機器に不具合が発生しましても当社はその責を負いかねます。

●医療機器、及び人の安全や社会機能に影響を与える機器装置への適用はできません。●本機器を発電機と併用することはできません。●植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充放電中のV2X機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので、使用しないでください。充放電中の本製品に近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらず速やかに離れてください。V2X機器本体部および充放電コネクタに密着するような姿勢はとらないでください。V2X機器を操作する必要がある場合、他の方にお願いしてください。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。●本機器を本来の用途以外に使用することは危険ですので行わないでください。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
ご不明な点は、あらかじめお買い上げの販売店または工事会社にご相談のうえ、正しくご使用ください。

製造元

ニチコン株式会社

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

https://www.nichicon.co.jp/

製品に関するお問い合わせ

ニチコン株式会社

関東・甲信越・東北・北海道 ―― 東京支店　TEL.03-3666-7811

中部・北陸 ―― 名古屋支店　TEL.052-223-5581

近畿・中国・四国・九州・沖縄 ―― 西日本支店　TEL.075-241-5370

販売店

CAT.3320-B1-HP.2026C

nichicon

産業用蓄電システム

2026.03

BS シリーズ

脱炭素・EVシフト・災害対策へのソリューション

公共・産業用蓄電システム

※上記イラストは設置時のイメージです。

柔軟なシステム構成で「いつも」の節電と「もしも」の安心をサポート

本製品は、太陽光発電を事業所で利用するだけでなくEV 充電※3 にも利用できる高機能な蓄電システムです。太陽光発電および EV の活用により、事業に係るエネルギーコストおよび温室効果ガス排出の削減を実現します。
さらに停電時には蓄電池だけでなく EV からも電力供給が可能であり、従来と比べてより長時間の電力バックアップを実現。近年重要性が高まっている災害対策に有効です。※1

※1 停電時には蓄電池、EV から施設内の予め設定された一部の負荷（特定負荷）に対して電力供給を行います。

エネルギー課題のソリューションとなる太陽光発電の有効活用

太陽光発電の有効活用により、化石燃料由来の電力使用を削減。さらにガソリン車から EV への切替推進により社会ニーズに合致した高効率なシステム構築が可能です。

パワーコンディショナ

大幅な小型化を実現した新規開発のパワーコンディショナ。
定格出力容量は 25kW、50kW の 2 種から選択可能。

蓄電池ユニット

狭い敷地空間にも設置可能なスリムでコンパクトな新規の蓄電池ユニット。
専用ラックと組み合わせることで、更に省スペースな設置が可能となります。

※上記イラストは設置時のイメージです。実際の設置方法や機器の離隔距離等については施工説明資料をご参照ください。

V2X※3活用によるEV連携、蓄電池ユニット増設によるシステム拡張

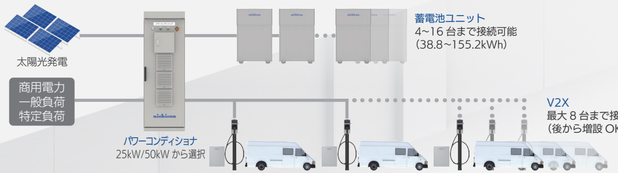
パワーコンディショナの容量、蓄電池ユニットおよび V2X の台数は選択可能であり、利用シーンに合わせて柔軟に組み合わせることができます。蓄電システム設置後に V2X を追加で増設することも可能です。

システム構成機器の組み合わせ

パワーコンディショナ容量	蓄電池ユニット台数（定格容量）	V2X 台数
25kW	4-8 台（38.8～77.6kWh）	最大 4 台
50kW	8-16 台（77.6～155.2kWh）	最大 8 台

蓄電池ユニット 1 台の定格容量は 9.7kWh

システム構成イメージ



※蓄電池ユニット、V2X それぞれ 4 台につき 1 台の分岐盤が必要となります。

導入シーン

生鮮食品の温度管理、電源供給が欠かせない施設・倉庫など様々なシーンで安心・安全をご提供します。

他にも、コンビニエンスストア／庁舎／消防署／など

V2X※2 ※3

EV、PHVの充電および放電を行うシステム。停電時にはEV、PHVの電池から放電させて事業所で電気を利用できます。
V2X スタンド（本体）とV2X ポッド（操作部）がセパレートとなっており、駐車スペースに合わせて最適な組み合わせで導入可能。
また複数台の導入により同時の充電・放電が可能です。

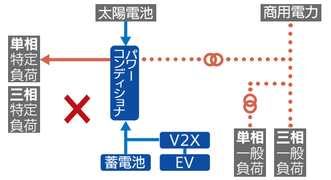
※2 V2X:Vehicle to X の略で、X はビルや商用電力など様々なものにつながることを意味します。
※3 V2X 連携機能は現在開発中です。

防災対策・レジリエンス強化に最適な三相システム

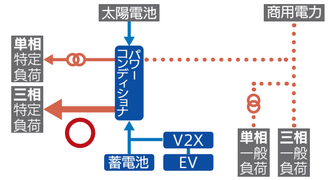
太陽光発電および蓄電池に加えて EV の大容量の車載蓄電池からも電力供給が可能であり、レジリエンス機能を強化。
災害などによる停電時には照明や小型機器など単相（電灯）負荷だけでなくエレベータやポンプなど三相（動力）負荷のバックアップが可能であり、事業所における非常時の業務継続や避難所における安心・安全の確保に貢献します。

※医療機器、及び人の安全や社会機能に影響を与える機器装置への適用はできません。
※単相特定負荷用のスコットトランスはオプションです。
※ポンプ負荷、モータ負荷、空調設備など起動電流の大きい負荷は過電流により給電できない場合があります。
※専用の通信制御を必要とする負荷は停電時に使用できない場合があります。予め負荷として接続する機器のメーカーにご確認ください。

従来の**単相蓄電システム**
三相（動力）負荷に給電不可



本製品の **三相蓄電システム**
三相（動力）負荷に**給電可能**



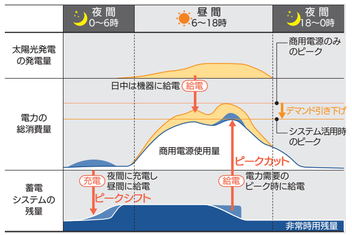
交流電力
直流電力
交流電力（停電時停止）

エネルギーコスト・CO2排出量の削減

太陽光発電の自家消費、蓄電池によるピークカット・ピークシフトはもちろん、ガソリン車から EV への切替によって事業運営に係るエネルギーコストおよび CO2 排出量の削減が可能です。

ピークカット・ピークシフト

ピークカット・ピークシフト運転によりピーク時間の買電電力量を抑制し、電力基本料金の削減に貢献します。



削減効果試算（一例）

【試算条件】
発電電力をすべて自家消費し、ガソリン車 8 台を EV へ切り替える場合を想定。

導入設備	基本仕様
太陽電池	50kW
蓄電システム	出力 50kW/ 蓄電容量 77.6kWh
V2X	8 台

【試算結果】

項目	エネルギーコスト削減	CO_2 削減
太陽光発電の自家消費	電気料金 -1,206 千円 / 年	-21.6t/ 年
ピークカット	電気代 -535 千円 / 年	-0.0t/ 年
ガソリン車から EV へ切替	ガソリン代 -1,952 千円 / 年	-22.4t/ 年
合計	-3,693 千円 / 年	-44.0t/ 年

※ニチコン試算。ピークカット 25kW、車 1 台あたりの走行距離 20,000km/ 年と想定。
※お客様の使用状況によって数値は変動するため、効果を保証するものではありません。
※本製品で充放電動作を行う際、車両側でも各種システム（バッテリー保護機能等）を動作させるために最大数百 W の電力を消費する場合があります。